

安定的な水の供給確保について

代表質問



政友公明会

小池 利雄 議員

大田原ブランドの推進について

質問…水道事業の現状と将来の見通しについて伺います。

答弁…大田原市では、給水普及率95.4%に達し、水道施設は市民生活の基盤として欠かせないものとなっています。水道の計画的な整備を中心とする時代から、人口減少社会や頻発する災害に対応できるような施設の維持管理や修繕、計画的な更新を行うことにより、将来にわたり

持続可能な水道とすることが求められる時代と変化しています。

質問…今後の耐震化の工事について伺います。

答弁…平成29年度に新水道ビジョンを策定し、次期整備計画を策定していきませんが、今後おおむね10年を目途に整備計画を策定していく中で、中心となるのは老朽管の更新、耐震化ということがメインになりますので、

次期計画の中に中心的な位置づけで計画をしていく考えです。

質問…水道事業の広域連携について伺います。

答弁…今後、県が主導する会議の中で、本市がどのような広域連携が模索できるか、検討していきたいと考えています。

質問…平成28年9月定例会で質問しましたが、前向きに検討する

という答弁をいただきておりますが、その検討結果について改めて伺います。

答弁…ブランド化には、生産者側の安全管理や品質管理等による消費者からの信頼性向上や何らかの付加価値の付与が重要となっております。本市では、大田原市観光協会が推奨する優良観

光土産品制度や大田原商店連盟

が中心となる一店逸品運動を商品等により差別化や付加価値の向上を目指し、ブランド化に向けた取り組みを行っています。

現在、大田原ブランド推進協議会等での認定の審査をいただく候補商品についての準備作業を進めていますので、平成29年度の早い時期には大田原ブランドの認定ができるものと考えて

います。

質問…大田原ブランドの推進について伺います。

答弁…大田原市には、大田原ブランド推進協議会がありますが、大田原市で認定をしたものについては、マークまたはステッカーをつくり、わかるような形で進めていく考えです。